

パワフル学級

－協力し合って楽しい学級に－

- 1 学年 第3学年〔前期〕
 2 主題名 学級のよさ〔4－（4）〕
 3 ねらい

友達の言動から学級に対する思いが変わってきた「ゆう子」の気持ちを考えることを通して学校生活に親しみ、みんなで協力し合って明るく楽しい学級にしていこうとする実践意欲を育てる。

- 4 資料名 「パワフル学級」
 5 展開

	学習活動と主な発問	児童の反応	指導上の留意点
導入	1 学級歌を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> たのしいな。 自慢のできる学級の歌だ。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の歌をみんなで歌うことにより、学習に対する意欲を高める。
展開	2 資料「パワフル学級」を聞いて話し合う。 ○ 涙が出そうになるのをこらえていた「ゆう子」は、どんな気持ちだったでしょう。 ○ 「かずま」や学級のみんながボールを探してくれた時、「ゆう子」はどんな気持ちになったでしょう。 ◎ 「ゆう子」の学級に対する思いは、前と比べて変わってきたのは、なぜでしょう。 3 自分の経験を振り返って話し合う。 ○ この学級のよさは、何ですか。もっと楽しい学級にするために自分にできることを考えましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 一生懸命やっているのに責めなくても。 だれも助けてくれない。 こんな学級にいたくない。 わたしがなくしたのに、学級のみんなが探してくれるとは思わなかった。 休けい時間がなくなるのにボールを一緒に探してくれて、うれしい。 学級のみんな、ありがとう。 学級のみんなも協力してくれてうれしくなったので。 学級が楽しくて好きになったからだよ。 この学級が明るくなった気がしたから。 男子と女子が仲がよくなったから。 困っている友達がいたら、励ましたり助けたりする。 けんかをせずに、仲良くする。 係の仕事を協力してやる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級のみんなに対する反感から、学級がいやになってしまう「ゆう子」の気持ちに共感させる。 「ゆう子」が学級のよさを感じられるようになったことに気付かせる。 ワークシートに書かせる活動を通して、学級のよさに気付き、みんなで協力して楽しい学級にしようと思うようになった「ゆう子」の気持ちに共感させる。 これまでの学級生活を振り返らせることにより自分も学級のために協力していこうという気持ちをもたせる。
終末	4 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 学級っていいな。 みんなで協力し合って、もっと楽しい学級にしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級のよさを感じ取っている児童の日記を紹介することにより、実践意欲を高める。

6 授業の概要

(1) 主題について

本主題は、中学年の内容項目〔4－（4）〕「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。」をもとに設定した。学級での人と人との触れ合いは、子どもにとって貴重な体験である。この触れ合いを大切にしている心が、学校の人々に対する感謝の念と親愛の情となって表れる。学校全体の雰囲気や温かな人間味のあるものにしたたり、学級のよさを感じさせたりすることにより、感謝の念や親愛の情をはぐくむことができるものと考えられる。

また、学級が自分たちのものであるという自覚をもち、この時期の特徴である明るさを生かした楽しい学級やよりよい学校生活をみんなで協力してつくろうとする心情を養いたい。

(2) 自作資料活用のポイント

ア 活用する時期

本資料は、学級に慣れこれまでの生活を振り返り、今後の学校生活に生かそうとする意欲を持たせるため、2学期初めころに扱うとよい。

イ アンケートの活用

事前に学級についての意識調査をしておきたい。アンケートの内容は、「自分の学級のよいところはどこか。」「どんな学級にしたいか。」「そういう学級にするために、自分が学級の一員としてできることは何か。」等とする。この調査結果を児童の考えの変容の把握や、展開後段での振り返りに活用したい。

ウ 中心発問

中心発問は、学級の友達の言動から変化する「ゆう子」の学級に対する気持ちを問うものである。その前段で、クラスのみんなに対する反感から自分の学級がいやになってしまいう「ゆう子」の気持ちをしっかりとらえさせておきたい。そのことにより、友達の言動から学級のよさに気づき、変容した「ゆう子」の学級に対する思いに共感させたい。

エ 係活動等との関連

児童は、係活動や当番活動などを通して、自分たちで創意工夫し、学級みんなの役に立ったり、友達を楽しませたりしている。これらの繰り返しが、徐々に学級の一員であることを自覚させ、協力し合って楽しい学級をつくらうとする心情を育てることにつながるであろう。

(3) 指導過程の工夫

ア 導入の工夫

自分たちの学級の歌を歌うこと等により、雰囲気を盛り上げ、学習意欲を高めたり、ねらいとする価値への方向付けを行ったりする。学級歌がない場合は、月ごとに歌っている歌や音楽の時間に歌っているテンポのよい歌を合唱し、楽しい雰囲気で始めたい。

イ 資料提示の工夫

場面絵を使って資料提示をすることにより、イメージ豊かに内容をとらえさせたい。また、ポイントとなる言葉や文を短冊で提示することにより、場面状況をしっかり把握させたり、登場人物への共感を深めさせたりすることにより、児童の考えが深まるようにしたい。

ウ 振り返りの工夫

展開後段では、自分の学級のよさについて考えさせるとともに、そのよさを生かしたり、伸ばしたりするために自分ができることについて考えさせたい。

エ 終末の工夫

学級のよさを感じ取っている児童の日記を紹介することにより、自分たちの学級のよさを実感させ、実践意欲をもたせたい。